



秋はふみ…漱石と歩む

「草枕」国際俳句大会 30回記念誌

第1部 30回大会報告

夏目漱石顕彰
第30回「草枕」国際俳句大会

「草枕」の玉手箱

（入賞作品集）

The 30th International “Kusamakura” Haiku Competition
Prize-Winning Haiku Magazine

目次

ごあいさつ	2
選者略歴	3
入賞作品	
・事前投句一般部門	4
・インターネット投句部門	7
・ジュニア部門	8
・外国語部門	11
・写真俳句部門	13
・当日投句部門	14
くまもと俳句ポスト	17
応募者都道府県別集計	18
応募者国別集計	19
大会を振り返って	20
実行委員会委員	21

各部門の選評は、「草枕」国際俳句大会のホームページに掲載されています。ぜひご覧下さい。

「草枕」の玉手箱～発刊にあたって

「草枕」国際俳句大会実行委員会名誉会長

熊本市長 **大西 一史**



本大会は、俳句を通じて熊本と世界を結ぶ架け橋として、平成8年の創設以来、30年もの長い歴史を刻んでまいりました。この節目を迎えるにあたり、これまで大会の開催にご尽力いただきました関係者の皆様に、深く敬意と感謝の意を表する次第です。

さて、今大会には、国内外から6,800句を超える作品をご応募いただき、とりわけ、当日投句部門では400句以上、ジュニア部門には約2,700句、そして世界67か国から約1,200句の投句が寄せられるなど、俳句が世代や国境を越えて広がりを見せていることを大変嬉しく思います。ご参加いただいた皆様に、この場をお借りして改めて厚く御礼申し上げます。

また、表彰式では「世界で愛される俳句 今なぜ地球俳句か」をテーマにシンポジウムを開催し、俳句が自然や他者との調和を象徴する言語として、世界に広がる意義を改めて考える貴重な機会になったものと存じます。

今回発刊する『「草枕」の玉手箱』は、入賞作品を収めるとともに、これまでの大会の歩みを振り返る記念号となっておりますので、俳句の魅力と大会の歴史を凝縮した一冊として、ご高覧いただければ幸いです。

皆様ご承知のとおり、令和8年に漱石来熊130年、令和9年に漱石生誕160年となる記念の年を迎えます。

本市としましては、これらを契機に、俳句をはじめとした漱石文化の振興と継承に、なお一層取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたり、多大なるご尽力を賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、ご参加いただいた皆様の今後ますますのご健勝とご活躍を心より祈念し、発刊のご挨拶といたします。

選者略歴

事前投句一般部門

いわおか なかまさ
岩岡 中正

「阿蘇」名誉主宰
(公社)日本伝統俳句協会名誉会長
『春雪』『相聞』『虚と現代』他

たかのむつお
高野ムツオ

「小熊座」主宰
(一社)現代俳句協会会長
『萬の翅』『片翅』『蟲の王』他

おがわ はるこ
小川 晴子

「今日の花」主宰
(公社)俳人協会評議員
『花信』『摂津』『今日の花』

にしむら かずこ
西村 和子

「知音」代表 (公社)俳人協会副会長
国際俳句協会理事
『かりそめならず』『椅子ひとつ』他

きしもと なおき
岸本 尚毅

(公社)俳人協会理事
「天為」「秀」同人
『雲は友』『小』『文豪と俳句』他

インターネット投句部門

にしむら たいぞう
西村 泰三

「松」編集・発行人
(公社)俳人協会評議員
『三郎塚』

ふくなが みつゆき
福永 満幸

「水葱」俳句会主宰
『初鴨』他

ジュニア部門

にしぐち ゆみこ
西口裕美子

「霏霏II」編集事務局長
(一社)現代俳句協会会員
『群青い耳』

やまぐち たかのり
山口 孝徳

「霏霏II」所属
熊本信愛女学院高等学校国語科教諭

まえやま みつのり
前山 光則

作家
『ふるさと球磨川放浪記』『ていねいに
生きて行くんだー本のある生活』他

やました しげと
山下しげ人

「阿蘇」主宰、「ホトギス」同人
(公社)日本伝統俳句協会熊本県部会長
ふる里俳句館館長
『穴よりも』他

みつなが ただお
光永 忠夫

「自鳴鐘」会員
熊本県俳句協会会長

外国語部門

いじりか よこ
井尻香代子

京都産業大学文化学部教授
京都府連句協会常任理事
『アルゼンチンに渡った俳句』他

よねおか しゅり
米岡ジュリ

熊本学園大学外国語学部英米学科教授

にしかわ もりお
西川 盛雄

熊本大学名誉教授
国際俳句協会会員
『漱石の英詩におけるポイエティクス』
『俳句は国境を越えて』他

にしまさ いさむ
西槇 偉

熊本大学大学院人文科学研究部教授
『中国文人画家の近代 豊子愷の西洋美術
受容と日本』他

写真俳句部門

こくもと じゅんじ
穀本 純二

くまもと写真俳句同好会代表
元熊本日日新聞社写真部長

やました しげと
山下しげ人

ジュニア部門に掲載

当日投句部門

いのうえ やすし
井上 泰至

(公社)日本伝統俳句協会会長
防衛大学校教授

いわおか なかまさ
岩岡 中正

事前投句一般部門に掲載

おがわ はるこ
小川 晴子

事前投句一般部門に掲載

にしぐち ゆみこ
西口裕美子

ジュニア部門に掲載

事前投句一般部門

「草枕」大賞

慎みて原爆の日の塩むすび

小野 雅子 (滋賀県 栗東市)

地下水都市・熊本賞

一撃をくれたる野火の起き上がる

宮部 敏博 (愛媛県 大洲市)

二百十日賞

大阿蘇の懐にゐて涼しかり

高村 聖恵 (熊本県 合志市)

JAグループ熊本賞

肉体をむき出しにしてかたつむり

小林万年青 (秋田県 秋田市)

福井市賞

復興の城を一周夏つばめ

永利五十鈴 (福岡県 春日市)

松山市賞

本丸と二の丸繋ぐ蟬時雨

田代 幸子 (熊本県 宇土市)

岩岡 中正 選

特選

一穂の稲の花より千枚田

大川内みのる (熊本県 荒尾市)

入選

奔放に育つ山の子花かぼちゃ

毛利 喜子 (愛媛県 内子町)

八月六日祈りても祈りても

上村 孝子 (熊本県 熊本市)

漱石忌万年筆の書き心地

寺本こう子 (熊本県 熊本市)

佳作

夏の雲また一人ヒーローが逝く

大津 夕可 (熊本県 熊本市)

蛸やひとり暮しの母のこと

松本よし枝 (熊本県 熊本市)

柿若葉水を廻して桶洗ふ

安田眞葉子 (熊本県 熊本市)

プレス機も残業に入る西日かな

畑本 信行 (大分県 玖珠町)

百日紅かんかん照りの続く街

小柴 智子 (熊本県 宇土市)

小川 晴子

選

特選

阿蘇を抱く鄙に親しき燕来る

板倉 孝敬 (神奈川県 相模原市)

入選

山神の手のひら出づる瀑布かな

諏訪園加奈子 (鹿児島県 鹿児島市)

天高しガイドの訛り天守まで

吉田 春代 (埼玉県 行田市)

カルデラの風の扉あけて小鳥来る

古賀久美子 (熊本県 熊本市)

佳作

江津の湖ぐいと傾け田水張る

つのだともこ (熊本県 熊本市)

桐の秋町の名古き城下町

松村 直央 (東京都 世田谷区)

子には子の覚悟ありけり茄子の花

池田 道子 (熊本県 熊本市)

可惜夜や星のまたたき蚯蚓鳴く

天本 睦子 (福岡県 北九州市)

藁素坊のふと目覚めけり春の潟

千田 道晋 (神奈川県 横浜市)

岸本 尚毅

選

特選

星飛んで何処かの戦終らんと

梅津眞佐子 (熊本県 熊本市)

入選

どてら着てこまごまとある植木鉢

坪井 瑞代 (熊本県 熊本市)

谷間を防災無線秋の宿

前原八寿之 (福岡県 大牟田市)

修復や灼けたる石を積み直す

西村 孝子 (熊本県 熊本市)

佳作

秋雷に県庁の松倒れけり

小山 禎子 (熊本県 熊本市)

ポマードのてかり亡父の籐枕

吉田由利子 (熊本県 宇城市)

大阿蘇の麓を巡る帰省かな

大久保 昇 (東京都 葛飾区)

炎天下歩けよコキコキ人工骨

船原きよみ (熊本県 美里町)

口髭に桃の匂ひの残りけり

深町 明 (福岡県 朝倉市)

高野ムツオ

選

特選

草笛を吹きて山河を呼び戻す

山本 淑子 (熊本県 熊本市)

入選

田の神の触れてゆきたる稲穂かな

平川みどり (熊本県 南関町)

白南風にぐひと踏み込むペダルかな

真弓ぼたん (熊本県 熊本市)

ありのままそのまままでよし草の花

渡辺あや子 (熊本県 菊池市)

佳作

ひまはりのどつと笑つてゐてしづか

寺崎久美子 (熊本県 熊本市)

万年の阿蘇の一と日の野火埃

角田 宏子 (熊本県 熊本市)

野に眠るみ霊の使ひ赤とんぼ

西山 恵二 (佐賀県 鳥栖市)

静脈を探る針先風光る

松尾 光浩 (熊本県 山鹿市)

万緑の埋め残したる磨崖仏

土井 一正 (福岡県 太宰府市)

西村 和子

選

特選

くつきりと紺青の嶺々涼新た

堀 伸子 (熊本県 熊本市)

入選

噴煙の阿蘇を遠見に秋惜しむ

芥川 竜人 (愛媛県 西条市)

根もとより吹かるる髪も夏草も

立川 六珈 (大阪府 大阪市)

天災も人災も越え城の春

永見 徳代 (東京都 台東区)

佳作

切り分けし猪肉いまだ温かし

清水 明美 (熊本県 八代市)

荒らしてはならぬ一心畑を打つ

守田 律子 (熊本県 御船町)

枕辺にちらかる俳句明易し

勝又 洋子 (東京都 目黒区)

野の馬の耳よく動き秋の風

高橋 純子 (神奈川県 藤沢市)

ささくれの引つかかりたる春シヨール

渡邊三恵子 (熊本県 熊本市)

インターネット投句部門

「草枕」大賞

じゃあとしか言わぬ帰省子見送りぬ

坂田 淑子 (熊本県 熊本市)

特選

搾乳を終えて一服月涼し

武田 悟 (宮城県 涌谷町)

「草枕」読み説く教授肥後訛

中嶋 重利 (福岡県 築上町)

余生いまこの地に在りて広島忌

吉田 潮 (熊本県 熊本市)

ぴちぴちのきびなごぴちと裂かれけり

真弓ぼたん (熊本県 熊本市)

入選

人までも一色にして若葉風

吉田 達郎 (滋賀県 湖南市)

放下してつましき暮し目刺焼く

安田 功二 (東京都 北区)

退院の夫へと傾ぐ日傘かな

岩水ひとみ (兵庫県 神戸市)

ミサイルが全部花火になればいい

大友 清晃 (熊本県 熊本市)

すれ違ふ香水にまだ君のこと

楠本シフリ (長崎県 西海市)

新涼や雲はひと筆書となり

藤井 啓子 (兵庫県 神戸市)

耳澄まし花火楽しむベッド上

米田 裕喜 (熊本県 熊本市)

長塀の白の際立つ酷暑かな

田代 幸子 (熊本県 宇土市)

葛の花スイッチバックすれすれに

石坂 博子 (熊本県 熊本市)

十一時二分のサイレン油蟬

千葉 文智 (岩手県 一関市)

ジュニア部門

「草枕」大賞

小学生の部

宿題の終わった後の蝉時雨

井上 權里

(埼玉県開智小学校四年)

中学生の部

麦茶飲む無言のままの背番号

西岡 徹

(熊本県熊本市立東町中学校三年)

高校生及び十八歳以下の部

百枚の銅鏡が出て月の谷

原島 奏

(東京都開成高等学校一年)

三四郎賞

一人っ子になりたい夜や髪切虫

島崎 結菜

(東京都学習院女子高等科二年)

西口裕美子

選

特選

路地裏の朝顔ひとつ炎めき

川崎 千草 (東京都学習院女子高等科二年)

入選

背伸びして葉桜の葉裏のざらり

田口 茉優 (東京都学習院女子高等科二年)

地球儀の日本は小さい入道雲

矢澤蒼一郎 (熊本県熊本市立壺川小学校五年)

じゃんけんのあいこ続いて秋涼し

東風谷莉世 (東京都学習院女子高等科二年)

佳作

風鈴やふいに静かな午後三時

管 詩荀 (東京都学習院女子高等科二年)

子ねこぶくぶくかいだんはのぼれない

若狭 早 (愛媛県愛媛大学教育学部附属小学校二年)

葉桜や母の返事に時差のある

本間まどか (東京都学習院女子高等科二年)

町たんけんてんぼうだいからつゆの海

古市 一桜 (富山県高岡市立伏木小学校二年)

瓶ラムネぼんと始まる青い夏

北原 和佳 (熊本県熊本信愛女学院高等学校二年)

蝉の声祖母から聞いたあの日の空

野口 琶月 (広島県呉市立昭和北中学校三年)

入道雲山より高く息を吐く

福原 仁子 (東京都学習院女子高等科二年)

夕焼けや今日という日をかき混ぜて

森田 結愛 (熊本県熊本市立東町中学校三年)

水ぶきは十おうふく目大そうじ

吉田晟二郎 (富山県高岡市立伏木小学校五年)

前山 光則

選

特選

浴衣着て誰より笑う夏祭り

北原 由逗 (熊本県玉名女子高等学校三年)

入選

もうすこしでよみおわる本秋おわる

西多 晃都 (埼玉県鴻巣市立鴻巣中央小学校二年)

しゅくだいをおいておとまりお正月

松山 陽 (富山県高岡市立伏木小学校四年)

新緑やドライブで行く沈下橋

高橋 柑奈 (広島県呉市立昭和北中学校三年)

佳作

ぼくはおにいとこをさがす二月の夜

ミランダイザキ (富山県高岡市立伏木小学校四年)

日が照って僕に領く雪だるま

圓谷 紀秀 (熊本県熊本市立東町中学校三年)

入道雲実はお空の泣き笑い

西川 凜 (熊本県熊本信愛女学院中学校二年)

思い出がラムネのように溢れでる

守田 優愛 (熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校二年)

かき氷溶けるスピード恋みたい

森本 心春 (熊本県玉名女子高等学校三年)

虫の音に返せぬ言葉沈みゆく

村岡 愛莉 (熊本県尚綱高等学校三年)

弟がつくし集める遠回り

村田 惇 (富山県高岡市立伏木小学校四年)

声小さい入学式の校歌です

青木 悠真 (富山県高岡市立伏木小学校四年)

桜散る触れぬ手のひら夢のまま

黒木 美沙 (熊本県熊本信愛女学院高等学校二年)

BBQ BGMは蝉時雨

高橋 亜実 (東京都学習院女子高等科二年)

光永 忠夫

選

特選

淡月や囃子の影の伸びてをり

出口 雅人 (和歌山県智辯学園和歌山高等学校三年)

入選

雪ふめば子どものころに帰りけり

万尾 響希 (熊本県熊本市立力台中学校三年)

お正月書きぞめやしねがいごと

高井 春妃 (富山県高岡市立伏木小学校三年)

満月は車に乗ってもついてくる

野田 璃乃 (熊本県荒尾市立中央小学校六年)

佳作

星空に光輝く花火かな

高見 政晴 (熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校二年)

潮騒にひとり心をほどきけり

市瀬 麗奈 (東京都学習院女子高等科二年)

紫陽花や滴る雫アメジスト

歌野 愛夏 (熊本県熊本信愛女学院高等学校二年)

朝の聖歌セミも一緒に歌ってる

尾方妃和妙 (熊本県熊本信愛女学院高等学校一年)

まどろみの中まで響く蟬の声

下野 理央 (東京都学習院女子高等科二年)

無機質な白を彩る寒椿

柳木 璃子 (熊本県熊本大学教育学部附属中学校三年)

かき氷いろとりどりのフレイバー

大年 結愛 (広島県呉市立昭和北中学校三年)

夏休み何か始めてみたくなる

濱田 夏輝 (熊本県熊本市立東町中学校三年)

つゆのみちたんぽにしろいとりあるく

小澤 莉子 (富山県高岡市立伏木小学校一年)

よう虫にきりふきの水かけてやる

ダシルバマテウス (富山県高岡市立伏木小学校二年)

山口 孝徳 選

特選

未来まで見える気がした夏の空

西山 千織 (熊本県玉名女子高等学校二年)

人選

さやけしや丘から隣町も見え

上松 篤史 (和歌山県智辯学園和歌山中学校三年)

それ全て俳句に込めよと鶏頭花

三木陽菜子 (和歌山県智辯学園和歌山高等学校一年)

初鴨や揺れる水面の軌跡かな

前田 俊輔 (和歌山県智辯学園和歌山高等学校一年)

佳作

すいか食む口で装着種鉄砲

杉谷 理華 (熊本県熊本信愛女学院高等学校二年)

ラムネ瓶雲の白さを溶かし込む

亀田 侑那 (東京都学習院女子高等科二年)

夏休み子の腹みたす備蓄米

麥生田百叶 (熊本県芦北町立佐敷中学校一年)

夕焼けに足の長さを競い合う

田山 聖陽 (熊本県芦北町立佐敷中学校二年)

弟と同じ消しゴム新学期

河本美沙紀 (埼玉県開智小学校四年)

カナヘビの名前を決めた夏休み

竹内 実珠 (埼玉県開智小学校四年)

わが犬のぬけ毛かたまり雲の峰

大坪 果暖 (熊本県熊本信愛女学院中学校二年)

憧れの姉の引っ越し春浅し

吉澤 杏梨 (熊本県熊本市立力合中学校三年)

夏の空カーテン大きく深呼吸

浴野 恵実 (熊本県熊本大学教育学部附属中学校三年)

夜ざくらはおけしようにライトにあたって

高岡 優翔 (富山県高岡市立伏木小学校三年)

山下しげ人 選

特選

原爆忌川にサイレンしずみけり

宮本 佳治 (熊本県熊本県立熊本高等学校二年)

人選

蛍飛ぶ水の記憶に触れながら

吉田 桜 (東京都学習院女子高等科二年)

ひっこしの朝です二重にじかかる

鶴 晴輝 (富山県高岡市立伏木小学校六年)

夏足袋で心機一転的を射る

古閑 友菜 (熊本県熊本信愛女学院高等学校二年)

佳作

薫風や全力で持つ優勝旗

成松清十郎 (熊本県熊本市立出水中学校三年)

花火消え目の輝きはまだ残る

大竹 雅人 (熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校一年)

青春が終わる音した花火かな

天野 七瀬 (熊本県熊本県立熊本農業高等学校三年)

レシートの印字の消えて花は葉に

中村 心遥 (東京都学習院女子高等科二年)

新学期カバンの底の夏の砂

八木みのり (東京都学習院女子高等科二年)

数式に沈みし午後は炎暑消ゆ

小山瑛利衣 (東京都学習院女子高等科二年)

風吹いて見上げた先の夏燕

橋本 奈帆 (東京都学習院女子高等科二年)

人混みの隙間をぬって見る花火

小林 翼 (熊本県学校法人文徳学園文徳高等学校一年)

真夏日に引き絞る弦鳴りひびく

坂本沙也花 (熊本県熊本信愛女学院高等学校一年)

夏の果てへアクリップも色褪せる

水上 麻帆 (東京都学習院女子高等科二年)

外国語部門 Non-Japanese Section

草枕大賞 & 福田令寿賞

Kusamakura Taisho (Grand Prize) & Reiju Fukuda Award

famine empty pots spill moonlight	飢餓 空の壺から溢れ出る 月の光	Farah Ali (United Kingdom)
--	------------------------	-------------------------------

地下水都市・熊本賞

Kumamoto 'City of Artesian Waters' Haiku Award

Nadan los cuervos en el mar de olas de oro, trigal al viento.	鴉は泳ぐ 金波の海を 麦に風	Miguel Ángel Calderón Solís (México)
--	----------------------	--

特選 Tokusen (Second Prize)

intonation a butterfly lands on a guitar string	蝶が ギター が の絃 が に留まって 際立つ韻き	Darko Batan Zunjic (Montenegro)
Quiet river bends, the heron folds its pale wings into the twilight.	静かな川 が の曲がり 鷺 が 黄昏 に 向かって 翼をたたむ	Faith Nyokabi Njunge (Kenya)
chess box friends and foes after the war laid side by side	チェスの箱 戦い終えて敵味方 仲よく列んで納まっている	Srinivasa Rao Sambangi (India)
lightning tip-toes hilltop to hilltop	雷鳴が 丘から丘へとひたひたと 渡りゆく	Leo Lavery (N.Ireland)
the close of summer my kokeshi dolls don't age	夏の終わり 私のこけしは 年取らぬ	Damir Janjalija (Serbia)
Manos curtidas preparan la comida. Arde el brasero.	日焼けした 手の昼支度 火鉢燃ゆ	Catalina A. Buadas Porcel (España.)

特選 Tokusen (Second Prize)

tras el incendio
en la tierra respiran:
flores violetas

山火事跡
地に息をする
薫かな

diego martín rodríguez
(Argentina)

流浪漢
剛下的雪の気味

バガボンド
降ったばかりの雪の匂い

Vladimir Aktov
(Russia)

草枕大賞受賞者のコメント (Comment of the Grand Prize winner)

Farah Ali (United Kingdom)

My name is Farah, and I live in England in a small city by the sea called Brighton. I would like to apologize for being unable to attend the ceremony in beautiful Kumamoto and offer my gratitude to the staff and judges for their kindness, generosity and hard work in organizing such an elegant and prestigious competition.

I am honored to have won Kusamakura Taisho in the foreign language category—it is a dream come true, and I promise to continue to improve and work hard on my haiku. I have deep respect and admiration for Japan and the Japanese people and am happy that haiku has forged a connection between us even though we live on opposite sides of the world.

I write and read haiku almost every day and when my daughter is old enough I hope she will love haiku too. When it is not raining my favorite places to write are on long walks by the seashore and in my small garden where I grow trees, flowers, fruit, vegetables and herbs.

The suffering in Gaza, Palestine, has hurt my heart. This haiku was written after I saw images of injured, starving adults and children waiting for hours even though there was no food left. I could not stop thinking about those empty pots and the innocent hands holding them. But famine and food insecurity are not only isolated to conflict zones. Many people all over the world do not have enough to eat and my haiku is also dedicated to them.

As a mother I pray for a world where no child goes to sleep hungry. As a human being I pray for a world where every man, woman and child can live in peace, free from tyranny and oppression.

Thank you so much for your time and consideration.



私はファラー・アリと申します。イギリスのブライトンという海辺の小さな町に住んでおります。熊本での素晴らしい授賞式を組織して下さいました大会関係者、選者の皆様のご親切、寛容心、ご苦勞に対して直接感謝の意をお伝え出来ないことをお詫びいたします。

このたび夢がかかない、外国語部門の草枕大賞を得ましたことを誇りに思い、今後も精進して自らの俳句の力を進化させることをお願い申し上げます。私は日本という国と人々に深い尊敬の心を持っております。そして私たちは地球の反対側に住んでいるとはいえ、俳句が私たちを結び付けていることを嬉しく思っております。

俳句については私はほとんど毎日読んだり創ったりしております。娘が十分に大きく成長したら俳句を好きになってくれることを願っています。雨の降らない日、私は海岸線を歩いたり、木、花、果物、野菜、ハーブなどを育てている我が家の小さな庭先で好んで句作をしております。

ガザやパレスチナの人々の苦悩には胸が痛みます。この俳句は負傷したり飢えた大人や子供たちが食料が無くなっていても関わらず何時間も待つ人々の映像を見た後にできたものです。私は空っぽの容器とそれを握りしめている無垢な人々の手について思わざるを得ませんでした。飢餓や食料不足は紛争地域だけに限りません。世界には食物が充分行きわたっていない処が多いのです。今回の私の俳句はこのような人々に対して捧げられたものです。

一人の母親として私は子供が飢餓状態のまま眠ることがないことを祈るばかりです。人間としてすべての男性、女性、子供が専制と抑圧から自由になり、平和に暮らせるようになることを祈っています。

この度はこのような時にご配慮を与えて下さり、感謝申し上げます。

(西川盛雄 訳)

写真俳句部門

「草枕」大賞

井上真知子 (福岡県 宗像市)



特選

木下 保之 (熊本県 熊本市)

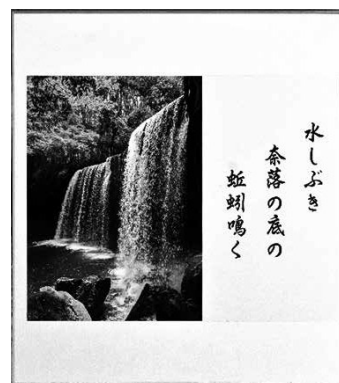


岩下 信興 (熊本県 熊本市)



優秀賞

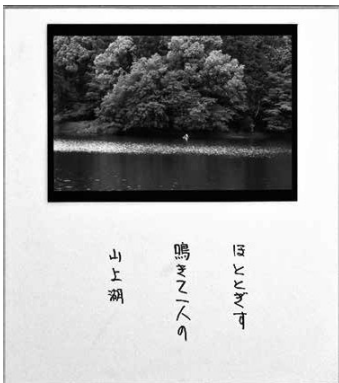
清海 宏 (熊本県 熊本市)



志賀 孝子 (熊本県 大津町)



猿渡 彰 (熊本県 菊陽町)



入選

高塚 太喜 (長崎県 諫早市)

後藤希久子 (熊本県 熊本市)

相馬 妙子 (熊本県 熊本市)

田代 洋子 (熊本県 合志市)

内田 一正 (岡山県 岡山市)

有田 桜 (日歳) (熊本県 八代市)

中村 康子 (熊本県 熊本市)

恵 玄一郎 (熊本県 合志市)

村田 健二 (熊本県 熊本市)

山戸 節代 (熊本県 熊本市)

当日投句部門

「草枕」大賞

大いなる虫籠となる阿蘇の原

田中よしえ (熊本県 嘉島町)

中村汀女賞

黄落の城を真中にある生活

頼田スミ子 (熊本県 熊本市)

地下水都市・熊本賞

まだ残る城の足場に秋いくつ

松本よし枝 (熊本県 熊本市)

(一財)熊本市文化スポーツ財団賞

職退きて妻に大根を買って来る

矢澤 幸乃 (熊本県 熊本市)

種田山頭火賞

我が内に紅葉灯して帰りけり

中西千鶴子 (熊本県 熊本市)

熊本の銘菓賞

真白とて褪めてゆくもの障子貼る

廣瀬 守世 (熊本県 熊本市)

井上 泰至

選

特選

漱石忌三角に切るハムサンド

轟 眞理子 (熊本県 熊本市)

入選

藻畳に水青々と初鴨来

嶋田 光子 (熊本県 熊本市)

練切の蕊の薄紅漱石忌

真弓ばたん (熊本県 熊本市)

眼裏に秋天の城収めけり

堀田 穂子 (熊本県 熊本市)

佳作

秋の灯や湖に汀女と虚子の句碑

槻木 俊彦 (熊本県 熊本市)

黄金雲浮かみて今し神の旅

上野久美子 (熊本県 熊本市)

ハーンの写真横顔にさす冬日

鞠子ミサヲ (熊本県 八代市)

あつさりと一人の夕餉石露の花

橋本 智子 (熊本県 熊本市)

一燈を灯してよりの夜長かな

安田眞葉子 (熊本県 熊本市)

岩岡 中正 選

特選

ほのぼのと句縁ありけり菊日和

木村佐恵子 (熊本県 熊本市)

入選

名月に名城緩びなかりけり

岩下 律子 (熊本県 熊本市)

幾度も潜りて鳩の向う岸

伊藤 広子 (熊本県 熊本市)

湖に今初鴨といふ光

平川みどり (熊本県 南関町)

佳作

霧飛ぶや谷の底ひの秘湯の灯

力 幸子 (熊本県 菊陽町)

茶の花や真白き母の割烹着

さとうともこ (熊本県 御船町)

小鳥来る小学校の合唱団

渡辺あや子 (熊本県 菊陽町)

石人のまばたき一つ返り花

山村 恵子 (熊本県 玉名市)

家々に届く峡の日柿すだれ

池田 道子 (熊本県 熊本市)

小川 晴子 選

特選

くまモンは人食はぬもん冬日和

松村 直央 (東京都 世田谷区)

入選

秋高し湯だまり蒼き阿蘇火口

永田 証真 (熊本県 熊本市)

城垣へ食ひ込む根方冬に入る

松本才ハナ (熊本県 熊本市)

初鴨に江津湖の水の奔りだす

大川内みのもる (熊本県 荒尾市)

佳作

日の色の仔牛の和毛野の小春

古賀久美子 (熊本県 熊本市)

あをあをと冬草映す濠しづか

岡本 和子 (宮崎県 高鍋町)

木の葉雨目つむりて聞く森の声

粟津 玲子 (熊本県 熊本市)

江津湖畔茶の花垣のつづく家

三川 幸子 (岡山県 岡山市)

瑞穂の国に女性総理来秋高し

下津可知子 (千葉県 浦安市)

西口裕美子
選

特選

吾亦紅母より父を哀しめり

吾亦紅 (大分県 国東市)

入選

茶の花や妣の飴色鯨尺

梶山 純子 (熊本県 熊本市)

天守へと曲りて登る若葉風

猿渡 彰 (熊本県 菊陽町)

仏像のものふめきて秋の風

藤井 久子 (熊本県 熊本市)

佳作

炯眼のまま冬蜂の落ちてをり

大津 夕可 (熊本県 熊本市)

ジヨバンニへ渡さうと思ふ竜の玉

上田 輝子 (熊本県 菊陽町)

残菊に雨脚何とやはらかに

吉田 潮 (熊本県 熊本市)

一山の風となりゆく鹿の声

高村 聖恵 (熊本県 合志市)

花の名にふーんと答ふ秋日和

永田 四郎 (熊本県 熊本市)

令和六年 第二十六期くまもと俳句ポスト

第二十六期開函

「霏霏Ⅱ」編集事務局 西口 裕美子 選

特選

その中に嬰抱く羅漢冬ぬくし 熊本県合志市 高村 聖恵

【講評】

雲巖禅寺から靈巖洞に至る斜面に在す五百羅漢。かなり摩滅しているが、様々な表情を見ることが出来る。静かだ。寒さが続く中、ふと暖かい日が訪れる幸せを表わす「冬ぬくし」。この季語が、そこここに在す羅漢たちの拡がりまでも見せる。「その中に」嬰を抱いたように見える羅漢様を作者は発見したのでろう。もしかすると、かつて自分を抱いてくれた父の姿を見たのかも。陽の当たる幸せを改めて思う作者の心が察せられる愛の一句。

わが輩通り賞

阿蘇五岳表も裏も小六月 熊本県熊本市 佐藤 誠吾

入選

コーラスの声澄む城趾球滾忌 熊本県熊本市 山崎 綾子
猫座る漱石の家秋深し 熊本県熊本市 小山 禎子
西南の役の弾痕秋暑し 岐阜県岐阜市 笠井 智子

佳作

蝉時雨八雲呼び立てている如く 熊本県熊本市 矢野 友子
冬日さす城の長塀鳩群れて 熊本県熊本市 坂口美穂子
錦秋や小国に博士の顕微鏡 熊本県熊本市 後野 陽
父の来し道をたどりし秋の島 山梨県南都留郡 志賀 奈都
名月に濡るる天守の豊かな 熊本県熊本市 芥川 卓
空港へ送り届けて夏終る 熊本県熊本市 中村 和徳
秋麗の旧居の庭猫闊歩せり 熊本県熊本市 岩木 靖子
彼岸花に誘われ植木の湯に一日 熊本県宇城市 永井 弘子
吾になほ空蟬剥がす力あり 広島県広島市 前田 節
赤とんぼ息子を想う水前寺 福岡県春日市 浦田 啓子

投句総数 百四十五句
市内 五十七句
市外 八十八句
開函日 令和六年十二月三十一日

令和七年 第二十七期くまもと俳句ポスト

第二十七期開函

「ホトトギス」同人 山下 しげ人 選

特選

大阿蘇の地軸ゆすつて野火猛る 熊本県熊本市 佐藤 誠吾

【講評】

数週間にわたって行なわれる阿蘇の山焼きは、火の国熊本に春を告げる一大風物詩です。古代より続いている山焼きを目の当たりにすると誰しも言葉が失うほどの感動を覚えます。首を立て風を巻上げながら奔る野火を「地軸ゆすつて」と表現したことで壮大な阿蘇の山焼きと作者の感動の大きさが素直に伝わってきます。

わが輩通り賞

漱石の庭の夏木に天気雨 東京都国分寺市 神野 純

入選

夕暮れの水路に翡翠滑り来る 熊本県熊本市 中村 和徳
梅雨晴れの四時軒の風ほほを過ぐ 熊本県熊本市 野白 仁美
花合歓の彼方に舍利の塔望む 熊本県熊本市 坂口美穂子

佳作

四時軒にけふは水馬訪ねけり 熊本県熊本市 後野 陽
猫和む坪井の家には春日和 熊本県熊本市 永野 倅大
吟行の脚に嘯みつく江津湖の蚊 熊本県熊本市 岩木 靖子
桃香るいつもと違う散歩道 熊本県熊本市 干場 幸純
亡き友や姿探して梅畑 熊本県熊本市 徳永恵美子
美少年瞳の奥の散る桜 熊本県熊本市 宇野木 邦子
春泥や十五で散った田原坂 福岡県柳川市 平山 繁嗣
田原坂義に落ちゆくは桜かな 愛知県蒲郡市 守屋 紀生
緑さすかの日も同じ田原坂 宮崎県宮崎市 榎谷 昌子
為朝の伝説の山鳥帰る 熊本県熊本市 柳田 孝裕

投句総数 百三十三句
市内 六十九句
市外 六十四句
開函日 令和七年六月三十日

事前投句一般部門・インターネット投句部門 県別投句状況（ジュニアは全体数のみ）「草枕」国際俳句大会

県別	27回		27回 インターネット投句		28回		28回 インターネット投句		29回		29回 インターネット投句		30回		30回 インターネット投句	
	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数	人数	句数
北海道	3	16	0	0	2	4	1	2	5	12			2	4	3	5
青森県	0	0	0	0	0	0			0	0	1	2				
秋田県	1	4	0	0	1	2			0	0			2	6	1	2
岩手県	1	2	0	0	1	4			2	4			1	2	2	4
山形県	1	2	1	2	1	2	1	2	0	0	1	1	2	4		
宮城県	1	2	0	0	1	2			1	2			3	10	5	9
福島県	0	0	0	0	1	2	1	2	1	2	3	6			1	2
茨城県	1	2	0	0	1	4			1	4	1	2	1	2	5	10
栃木県	2	8	3	6	4	14	2	4	2	4	2	3	2	4	3	5
群馬県	2	4	3	5	4	16	2	4	3	10	2	4	2	4	2	4
埼玉県	12	34	13	26	11	24	4	8	7	22	4	8	7	20	10	18
千葉県	8	32	4	8	8	22	6	12	6	18	7	13	7	24	9	18
東京都	47	162	11	22	48	150	16	31	45	144	32	58	45	174	33	63
神奈川県	24	74	6	11	28	94	4	8	24	70	13	24	21	68	15	28
山梨県	0	0	2	3	0	0			0	0	1	2	1	2		
長野県	2	4	1	2	1	2	1	2	0	0	2	4	3	8	4	8
新潟県	0	0	4	8	0	0			0	0					1	2
富山県	0	0	1	2	0	0	1	2	0	0	2	4	1	2	2	4
石川県	0	0	1	2	0	0	1	2	1	2	2	4	1	2	2	4
福井県	0	0	1	2	0	0			0	0			3	12	2	4
静岡県	6	34	4	8	8	32	1	2	6	20	1	2	2	8	5	9
岐阜県	3	8	1	2	2	4	1	2	1	2	3	6			3	6
愛知県	8	18	11	21	6	14	2	4	5	12	5	8	9	22	10	19
三重県	2	6	3	6	1	4			3	6	5	10	3	8	2	3
滋賀県	0	0	2	4	3	8	3	6	1	2	2	4	3	12	5	10
大阪府	5	20	3	6	9	24	1	2	12	32	4	8	17	50	12	22
奈良県	1	2	1	2	3	8	1	2	2	6	2	4	2	8	2	3
和歌山県	0	0	2	3	0	0			2	6	3	6	1	2	3	6
京都府	3	18	0	0	3	8	4	6	11	52	3	5	5	20	5	9
兵庫県	12	30	3	6	9	20	4	8	12	30	9	18	10	24	10	19
岡山県	4	24	2	4	8	58	2	4	4	22	2	3	7	26	1	1
島根県	1	2	0	0	2	4	1	2	0	0	1	2			1	2
鳥取県													1	2		
広島県	3	10	3	6	4	14	3	5	4	18	2	4	3	12	2	4
山口県	4	14	1	2	3	10			3	16	1	1	5	18		
香川県	0	0	2	4	0	0			1	2	1	1	1	2		
愛媛県	4	10	0	0	3	8	2	4	6	18			4	18		
徳島県	1	2	0	0	2	4	1	2	1	2			2	4	2	4
高知県	1	2	0	0	0	0			0	0						
福岡県	39	162	9	17	37	150	11	22	40	164	17	31	45	170	19	36
佐賀県	3	12	0	0	2	6	1	2	3	10			3	12	1	2
長崎県	1	2	6	12	4	8	3	6	7	20	4	7	5	16	7	14
熊本県	278	1,054	72	143	253	960	69	135	290	1,026	71	137	264	944	74	142
大分県	13	52	1	2	11	42	3	6	12	52	2	4	9	36	3	6
宮崎県	10	44	2	4	9	32	1	2	9	46			6	32		
鹿児島県	8	28	1	2	7	28	3	6	5	20	4	8	5	20	3	5
沖縄県	3	12	0	0	2	8			2	8	1	2	2	8	1	1
海外	0	0	3	6	1	2	8	16	0	0	7	12			6	11
一般計	518	1,912	183	359	504	1,798	165	323	540	1,886	223	418	518	1,822	277	524
ジュニア計	1,098	1,912			1,638	2,628			1,612	2,467			1,759	2,735		
小	378	639			343	594			190	323			180	306		
中	679	1,210			667	945			870	1,291			646	875		
高	41	63			628	1,089			552	853			933	1,554		

外国語部門 応募者国別集計

国名	第28回 (R5年)				第29回 (R6年)				第30回 (R7年)				国名	第28回 (R5年)				第29回 (R6年)				第30回 (R7年)						
	英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計		英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計	英語	西語	中文	合計			
1	アメリカ合衆国	117	1	118	85	1	1	87	100			100	51	スウェーデン				0	1			1	2			2		
2	インド	39		39	38			38	49			49	52	台湾	2		1	3				0	1		1	2		
3	スペイン	2	46	48	1	61	62	2	41		43	53	ケニア	1			1				0	2			2			
4	日本	20		20	22		5	27	27	1	2	30	54	アイルランド	3			3	4			4	1		1			
5	クロアチア	33		33	25			25	30			30	55	南アフリカ				0	3			3	1		1			
6	イギリス	47	1	48	24	1		25	28			28	56	ウルグアイ		6		6		2		2		1	1			
7	アルゼンチン		22	22	1	41	42		23		23	57	マルタ	2			2	1			1	1			1			
8	ルーマニア	22	1	23	11	1		12	20	2		22	58	アルジェリア	1			1	1			1	1		1			
9	ポーランド	16		16	14	1		15	20	1		21	59	オーストリア				0	1			1	1		1			
10	イタリア	8		8	8	1		9	19			19	60	イスラエル	1			1				0	1		1			
11	フィリピン	26		26	12			12	16			16	61	アゼルバイジャン	1			1				0	1		1			
12	オーストラリア	8		8	10		1	11	16			16	62	ネパール	1			1				0	1		1			
13	メキシコ	1	14	15	1	21		22	1	14		15	63	ウズベキスタン	1			1				0	1		1			
14	カナダ	13		14	10		1	11	15			15	64	セントルシア				0				0	1		1			
15	グアム(USA)※	42		42	10			10	13		2	15	65	カザフスタン									1		1			
16	ニュージーランド	10		10	13			13	14			14	66	グアテマラ										1	1			
17	ドイツ	9	1	10	7	3		10	12	1		13	67	タジキスタン									1		1			
18	ブルガリア	11		11	13			13	12			12	68	デンマーク									1		1			
19	ナイジェリア	5		5	5			5	12			12	69	トリニダードトバゴ									1		1			
20	セルビア	4		4	14			14	8		1	9	70	ノルウェー	1			1	3			3			0			
21	フランス	1	1	2		1		1	5	3		8	71	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2			2	2			2			0			
22	スリランカ	4		4	2			2	7			7	72	エジプト	1			1	1			1			0			
23	キューバ		2	2	1	5		6		6		6	73	韓国	1			1	1			1			0			
24	ペルー		2	2		3		3	2	4		6	74	プエルトリコ		1		1		1		1			0			
25	香港※	1		1	2			2	6			6	75	パラグアイ		1		1	1			1			0			
26	中国			9	9	1		6	7	1		4	5	76	ラトビア				0	1			1		0			
27	ロシア	3	1	4	5		1	6	4		1	5	77	ボリビア				0		1		1			0			
28	オランダ	3		3	6			6	5			5	78	オマーン				0	1			1			0			
29	コロンビア		1	1	2	3		5		5		5	79	アンゴラ						1		1			0			
30	チリ		5	5		3		3		5		5	80	コスタリカ						1		1			0			
31	イラン	2		2	5			5	4			4	81	南スーダン					1			1			0			
32	トルコ	3		3	3			3	4			4	82	スロベニア	1			1				0			0			
33	ザンビア			0	1			1	4			4	83	キプロス	1			1				0			0			
34	マレーシア	4	2	6	12		2	14	2		1	3	84	ウクライナ	1			1				0			0			
35	インドネシア	4		4	4			4	3			3	85	タイ	1			1				0			0			
36	ベルギー	2		2	2			2	3			3	86	フィンランド	1			1				0			0			
37	ガーナ	1		1	1		1	2	3			3	87	バルバドス	1			1				0			0			
38	スイス	3		3	1			1	2	1		3	88	モロッコ	1			1				0			0			
39	パキスタン	2		2	1			1	3			3	89	ジンバブエ	1			1				0			0			
40	ギリシャ	1		1	1			1	3			3	90	リトアニア	1			1				0			0			
41	ポルトガル		1	1		1		1	2	1		3	91	ジャマイカ								0			0			
42	チェコ			0	1			1	3			3	92	ドミニカ								0			0			
43	モンテネグロ	2		2	5			5	2			2	93	チュニジア								0			0			
44	ハンガリー	3		3	4			4	2			2	94	ニカラグア								0			0			
45	ブラジル	5	9	14	1	1		2	2			2	95	ジョージア								0			0			
46	ベネズエラ		2	2		2		2		2		2	96	エクアドル								0			0			
47	ベトナム	1		1	2			2	2			2	97	サウジアラビア								0			0			
48	アラブ首長国連邦	1		1	2			2	2			2	応募者数合計				510	117	14	641	413	156	18	587	511	113	13	637
49	シンガポール	2		2	1			1	1		1	2	応募回数				952	225	27	1204	771	298	36	1105	962	215	22	1199
50	バングラデシュ	2		2	1			1	2			2	国数				62	18	5	※71	57	22	8	※67	59	18	8	※67

※グアムは米国に、香港は中国に数えた

第30回「草枕」国際俳句大会報告

第30回「草枕」国際俳句大会の表彰式（当日投句も含む）は2025年11月15日、熊本市中央区の市民会館シアーズホーム夢ホールに約250人が参加して行われました。

夏目漱石が第五高等学校の英語教師として熊本に降り立った1896（明治29）年から100年になるのを記念して1996（平成8）年にスタートした本大会も2025年には30回の節目の大会を迎えました。大会には夏目漱石顕彰とともに、熊本市名誉市民の俳人・中村汀女をしのび、俳句都市・熊本を国際的に発信するという目的もありますが、記念大会となった今年は新しい試みにも幾つか取り組みました。

その一つが外国語部門の大賞受賞者に福田令寿賞を贈ることです。福田令寿は宇城市出身で、1893（明治26）年、20歳で単身渡英、エジンバラ大学などで医学を学び、帰熊後は熊本の医療の発展や社会事業に取り組み、熊本市の名誉市民ともなりました。福田令寿賞は福田令寿の孫にあたる福田病院の福田稠理事長から寄金をいただき、大賞受賞者を熊本にお招きするものです。今回の受賞者のファラー・アリス（英国）は残念ながら欠席となりましたが、心温まるメッセージをお寄せいただきました。

また、一般部門に（株）九州伝播から「二百十日賞」、ジュニア部門に舒文堂河島書店から「三四郎賞」をいただきました。これで『草枕』『二百十日』『三四郎』と熊本のゆかりの作品が並ぶことになりました。

また記念シンポジウム「世界で愛される俳句 今なぜ地球俳句か」を開催。岩岡中正・大会会長の進行で、井上泰至・日本伝統俳句協会会長、井尻香代子・京都産業大学文化学部教授、西川盛雄・熊本大学名誉教授が、それぞれの立場から世界に広がる俳句の魅力を語り合いました。

30回大会の特徴は各部門の参加者と入賞された方々が熊本県内はもとより県外に広がったことがあり、また外国語部門では英語による投句者が多かったことです。スペイン語、中国語による投句受け付けもこの大会が貴重な機会となっており、「国際」という冠がますます意味を持つてきたように思います。今後のご協力をよろしく願います。

実績一覧と外国語部門の国別統計などもご覧になって下さい。

第30回「草枕」国際俳句大会実行委員会事務局長 高峰 武

部 門		応募者(人)	応募作品(句数)
事前投句一般部門		518	1,822
インターネット投句部門		277	524
ジュニア部門	小学校	180	306
	中学校	646	875
	高校生及び18歳以下	933	1,554
	(ジュニア部門合計)	(1,759)	(2,735)
外国語部門		637(67ヶ国)	1,199
当日投句部門		131	462
写真俳句部門		36	86
応募 合計		3,358	6,828

第30回「草枕」国際俳句大会実行委員会委員

第30回「草枕」国際俳句大会

名誉会長 大西 一史 熊本市長

会長 岩岡 中正 熊本大学名誉教授、日本伝統俳句協会名誉会長、「阿蘇」名誉主宰

副会長 西川 盛雄 熊本大学名誉教授、国際俳句協会会長

// 福永 満幸 「水葱」俳句会主宰

委員 石櫃 仁美 (一財) 熊本市文化スポーツ財団理事長

〔以下50音順〕

// (監事) 岡内 ゆりか 熊本市文化創造部文化政策課 課長

// 小野 友道 熊本大学名誉教授、(一財) 熊本市国際交流振興事業団理事長

// 穀本 純二 くまもと写真俳句同好会代表、元熊本日日新聞社写真部長

// 富田 一哉 熊本日日新聞社文化部長

// 西口 裕美子 「罪罪Ⅱ」編集事務局長

// 西村 泰三 「松」編集・発行人

// 前山 光則 作家

// 光永 忠夫 熊本県俳句協会会長

// 村田 由美 草枕交流館館長

// 山口 孝徳 熊本信愛女学院高等学校教諭

// (監事) 吉村 隆之 くまもと漱石倶楽部会長

事務局長 高峰 武 熊本学園大学招聘教授

主催 「草枕」国際俳句大会実行委員会、熊本市

共催 熊本県文化協会、熊本日日新聞社、(一財) 熊本市文化スポーツ財団

協賛 瑞鷹(株)、舒文堂河島書店、JAグループ／くまもと売れる米づくり推進本部、(株) お菓子の香梅、福井市、松山市、社会医療法人ましき会益城病院、社会医療法人寿量会熊本機能病院、医療法人博麗会のごち皮ふ科、友田皮ふ科医院

〈特別協賛〉 社会医療法人愛育会福田病院、(株) 九州伝播

〈後援〉 (一社) 現代俳句協会、(公社) 日本伝統俳句協会、(公社) 俳人協会、

国際俳句協会、(一財) 熊本公德会、俳句ユネスコ無形文化遺産登録推進協議会、(一財) 熊本市国際交流振興事業団、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791、熊本県、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、くまもと漱石倶楽部、草枕ファン倶楽部



社会医療法人 愛育会
福田病院

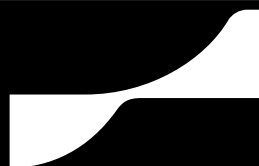


地域周産期母子医療センター

産科・婦人科・小児科・新生児内科・乳腺外科・肛門外科・東洋医学漢方診療科
麻酔科(橋本正博)



〒860-0004 熊本市中央区新町2-2-6 TEL:096-322-2995



社会医療法人ましき会

益城病院
MASHIKI HOSPITAL

〒861-2232
上益城郡益城町馬水 123
☎096-286-3611

精神科・心療内科・小児科(児童思春期)・歯科

認知症・もの忘れ・うつ・不眠
アルコール問題・思春期の相談
児童こころの悩みなど

理事長：犬飼 邦明 院長：渡邊 信夫



医療法人博麗会



のぐち皮心科

皮膚科
形成外科



理事長 野口 博光
院長 久保 正英



〒861-3106

熊本県上益城郡嘉島町上島 964-1

(嘉島町役場斜め前)

TEL.096-237-4112

FAX.096-237-4113

URL. <https://nogcli.jp/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00 ~ 12:30	●	●	●	●	●	●
14:30 ~ 18:00	●	●	●	休	●	休



株式会社九州伝播 事業紹介

近年、世界の経済に急激なグローバル化が進んでいます。株式会社九州伝播は2010年に立ち上げ、グローバル化の波に乗り、ニッチなマーケットのニーズを聞き入れ、製品を開発してきました。

会社設立当初には、くまモンの誕生と共に、くまモン縫いぐるみの設計、生産、販売を手掛け、くまモン人気の盛り上げに力を添えて来ました。

現在は主にLEDサイン、LEDサイネージなど、広告宣伝、交通信号用途の製品の開発、委託生産、販売を行っています。熊本中心街のCOCOSAビジョン、籠町ビジョンなどを手掛けました。



LEDを使用したこんな商品が欲しい、でもどこにも販売されていない、などの悩みがある時には是非声をかけて下さい。最善の解決策を作らせて頂きます。

どうぞ宜しくお願い致します。

住所：熊本市東区江津二丁目14-18

代表取締役：徐 海涛

電話：090-6293-8689

Email：info@kyushu-denpa.com

飲酒は20歳になってから。



くまもとの水とくまもとの米
伝統のある老舗の技で醸しだすくまもとの地酒です。

清酒「瑞鷹」
東肥「赤酒」

江戸時代末期
肥後の国川尻町で酒造りを始めて百六十年

伝統と風土が織りなす匠の酒

こころのうるおい、醸します。
瑞鷹株式会社
熊本市南区川尻四丁目6-67 〒861-4115
TEL 096-357-9671 FAX 096-357-8963



お米のいろいろな栄養素

ごはんには、炭水化物を中心に、たんぱく質やビタミン・ミネラル類など私たちが健康的な生活をするために必要な栄養素がたくさんつまっています。

玄米



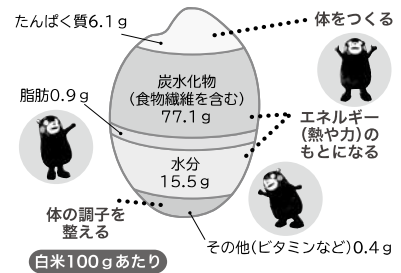
収穫されたお米のもみ殻を取り除いたもの

精白米



玄米からぬかと胚芽を取り除いたもの
給食のお米は精白米

お米のおもな成分とその働き



JAグループ熊本 くまもと売れる米づくり推進本部

くまもとのお米 検索



KUMAMOTO KINOH HOSPITAL

社会医療法人 寿量会

24時間救急

熊本機能病院

(財)日本医療機能評価機構認定医療機関

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8番1号 TEL.096-345-8111 FAX.096-345-8188

会長・総院長 米満 弘之
理事長 米満 弘一郎
院長 寺本 憲市郎



診療科

- 整形外科
- 形成外科
- 小児形成外科
- 救急科
- 外科
- リウマチ科
- 脳神経内科
- リハビリテーション科
- 脳神経外科
- 内科
- 循環器内科
- 血管外科
- 放射線科
- 皮膚科
- 麻酔科 (今泉隆志)
- 耳鼻咽喉科
- 消化器外科

併設施設

- ◇ 介護老人保健施設 清雅苑
- ◇ 機能デイトレ
- ◇ ホームケアサポートセンター
- ◇ 熊本圏域地域リハビリテーション広域支援センター
- ◇ 指定運動療法施設 熊本健康・体力づくりセンター
- ◇ なないろ森の保育園
- ◇ 熊本加齢医学研究所
- ◇ 地域交流館
- ◇ 熊本市北3地域包括支援センター

友田皮ふ科医院

院長 友田哲郎

〒 861-1112 熊本県合志市幾久富 1909-964 ☎096-248-6211





※お問い合わせ先※

『松山はいく』事務局

所在地:

愛媛県松山市三番町3-9-3

K-13ビル5F

TEL:089-945-6445

受付:10:00~17:00

松山はいく

正岡子規のふるさと・松山では、まち歩き「ハイキング」と「俳句」をかけて名づけられた観光まち歩きガイド『松山はいく』が活躍中!! 道後温泉や松山城以外にもお遍路体験をしながら石手寺を巡ったり、吟行句を地酒ラベルにしたりするなどオリジナリティあふれるコースをたくさんご用意しています。ご予算やお時間など、お気軽にご相談ください。

詳しくは、お電話又はHP: <https://matsuyamahaiku.jp> まで。

北海道産の大納言小豆を一粒ひとつぶ手選別。大自然の恵み、阿蘇の伏流水で炊き上げた、風味豊かな小豆餡でやわらかな求肥を包みました。

砂糖・大納言小豆・水飴・餅粉・麦芽糖・寒天・食塩。七つの自然な材料でつくる匠の味をご堪能ください。

kobai.jp

【白山本店】熊本市中央区白山1丁目6番31号 TEL.096-371-5081

くつろぎのごちそう **お菓子の 香梅**

[漱石マップ]

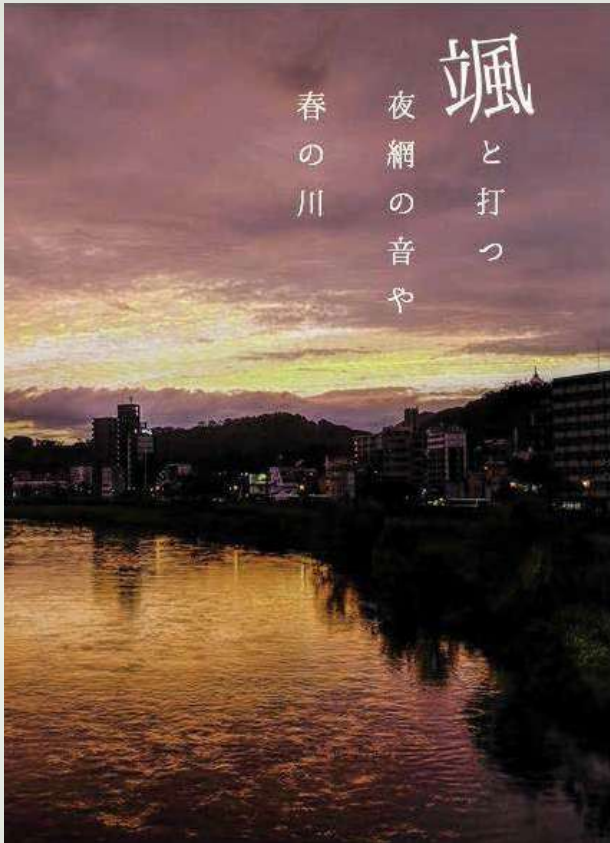


漱石の熊本俳句①

颯と打つ夜網の音や春の川

「白川」と前書きのついた明治31（1898）年の作。
熊本市内を流れる白川で投網を打っているのだが、さっと
網の聞く音だけが聞こえる。

※坪内稔典『漱石くまもとの句200選』
写真提供 キロクマ！



颯と打つ

夜網の音や

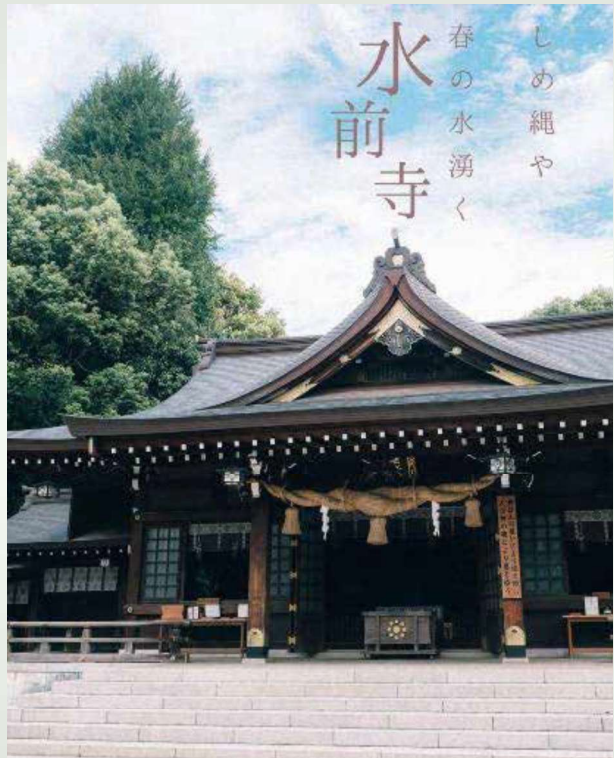
春の川

漱石の熊本俳句②

しめ縄や

春の水湧く

水前寺



しめ縄や春の水湧く水前寺

「水前寺」は熊本を代表する公園。園内に出水神社がある。
「しめ縄や」としめ縄を強調し、その神域の湧き水に感動
しつつ。

※今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」

漱石の熊本俳句③

我に許せ元日なれば朝寝坊

明治32（1899）年、漱石は高浜虚子、河東碧梧桐の両名あてに年賀状を出した。その年賀はがきに（略）記されたのがこの句。

※坪内稔典『漱石くまもとの句200選』



朝寝坊

我に許せ
正月なれば



漱石の熊本俳句④

行く年や猫うづくまる膝の上

猫を膝の上において一年を顧みているのである。（略）掲句はともかくも穏やかな年末風景である。「吾輩は猫である」という稀代な作品が『ホトトギス』に連載され始めるのは明治38年。

※今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」



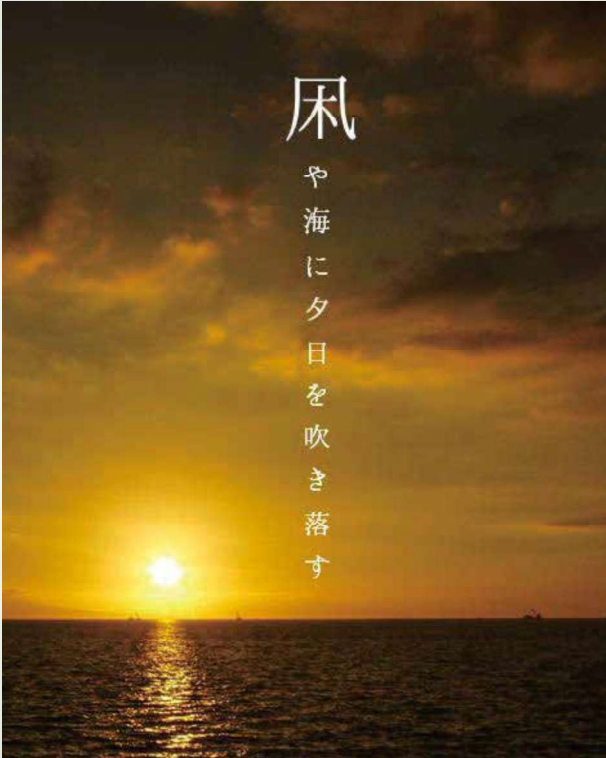
行く年や
猫うづくまる
膝の上

漱石の熊本俳句⑤

凧や海に夕陽を吹き落す

明治29年11月14日から19日迄天草・島原地方へ修学旅行の付添で旅をしている。この句は富岡あたりから天草灘に沈む夕陽を見て詠んだものと思われる。(略) 子規は「雄健な句」と言っている。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句(全)」
写真提供 キロクマ!

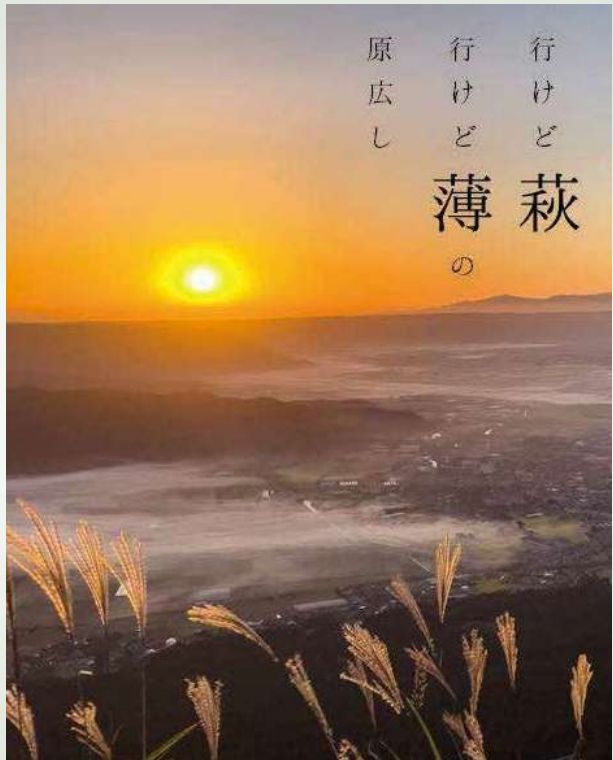


凧

や海に夕陽を吹き落す

漱石の熊本俳句⑥

行けど萩
行けど薄の
原広し



行けど萩行けど薄の原広し

この俳句は、明治32年に漱石が阿蘇の旅を詠んだ俳句のうち的一句。(略) 「行けど」を繰り返すことで、次々とひらがりゆく草原のパノラマと、「終日あらぬ方にさまよふ」旅人の心の中に次々と湧き上る不安が表現されている。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句(全)」
写真提供 キロクマ!

漱石の熊本俳句⑦

いかめしき門を這入れば蕎麦の花

文化財指定の旧制五高表門は赤煉瓦の堂々たるつくり。しかし明治二十二年の竣工から昭和のはじめまでは、表門から校舎のある中門の間にはまだ畑があった。いかにも九州の最高学府にふさわしいいかめしい赤い門と、一面にひろがる白い可憐な蕎麦の花のコントラストが見事。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄「熊本時代の俳句（全）」

いかめしき
門を這入れば
蕎麦の花



漱石の熊本俳句⑧

ゑいやつと蠅叩きけり書生部屋

「えいやつー!」と声をかけて蠅を叩いている。にぎやかな書生部屋の光景だ。熊本時代の漱石の家（旧飽託郡大江村にあった熊本における第三の家。今は水前寺公園裏に移築されて保存されている）には、五高生の書生が二人いた。（以下略）

※ 坪内檢典『漱石くまもの句200選』
写真 松岡謙編『漱石写真帖』昭和4年、第一書房より

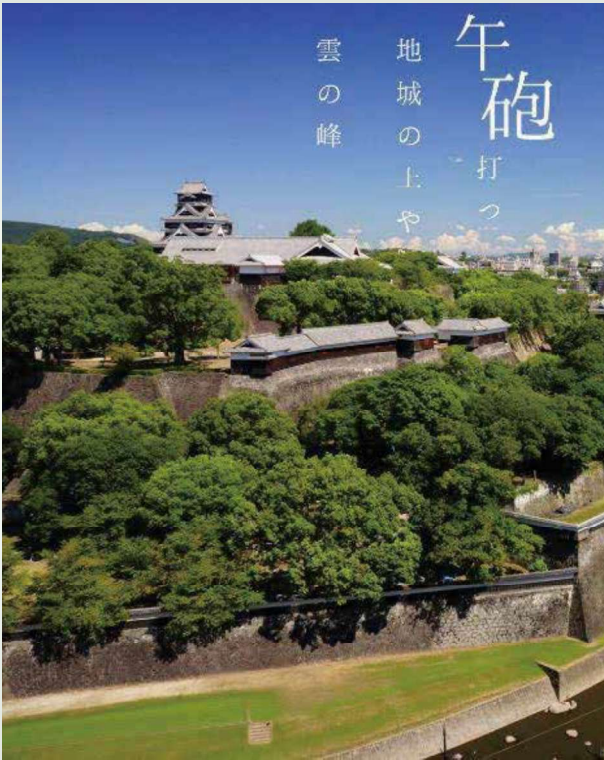


漱石の熊本俳句⑨

午砲打つ地城の上や雲の峰

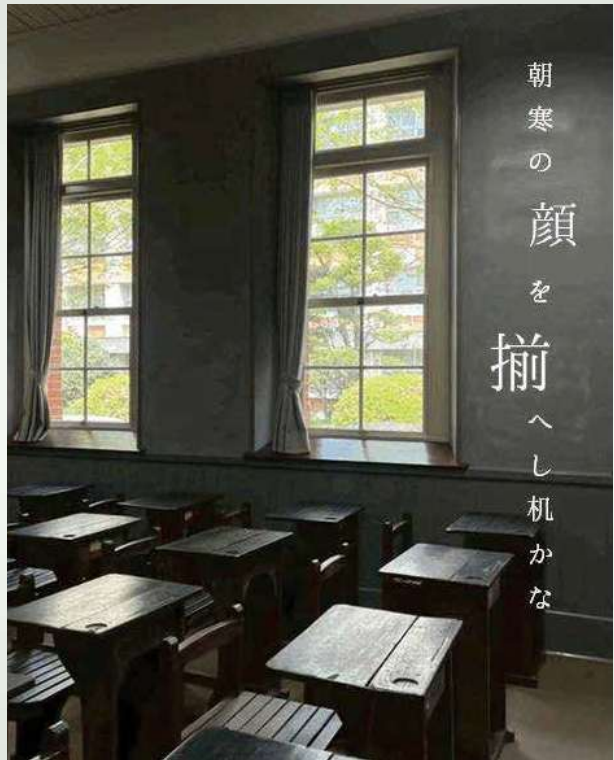
熊本城は明治10（1877）年の西南戦争で焼け落ち、漱石がいたときには熊本城の天守閣はなく、城域には第六師団司令部が置かれていた。午砲は月見櫓跡に山崎町方面に向かって据えられていた。熊本城跡を詠んだ漱石の句はない。かろうじてこの句が熊本城をしのぶ句になっている。

※ 村田田美 『漱石がいた熊本』



漱石の熊本俳句⑩

朝寒の顔を揃へし机かな



朝寒の顔を揃へし机かな

「朝寒の顔」とは省略のよく利いた把握で、1時間目の緊張が伝わってくる。先生が厳しい漱石であればなおさらである。ちよっとしたユーモアもある。

※ 今村潤子・岩岡中正・首藤基澄 『熊本時代の俳句（全）』